★受講者名：Юлия Кучеренко（ヴェルラン・ユーリア）

略歴（日本語学習歴）：

・バレエ教師（子ども、高校生、大人）

・主に子どもにバレエを教えるのに日本語が必要

・3年前、2か月日本でバレエを教えた。そのために、国で日本語を勉強した。

・ひらがなが無理なく読める。

・カタカナは苦手。ひらがなはときどき形の似た文字を混同している。フレーズや文を読む練習が必要か？（読む練習は本人にとって必要なのか？）

・漢字は少し読める。例：7月、　日、（木）

・「みんなの日本語初級Ⅰ」前半くらいまでの文型の質問を聞いて理解することができ、答えることができる。

・ウクライナで6か月ほど「みんなの日本語」で独学。

・日本語を使ってコミュニケーションをとることには慣れているように感じる。できるだけ日本語で答えようとしている。

・わからないことを日本語で質問できる。

**★質問事項**

1.学習期間

2022年6月22日～2023年3月30日

合計：9カ月

2.学習内容

ひらがなをはじめ、多くの単語を取得することができ、幅広く勉強できたように感じている。

3.学習を受けての感想

授業を通して教えていただいた内容は十分であったように感じる。足りないと感じた点は特にない。

4.今後の目標

(NPO法人関連の無料体験授業がある）

・日本で引き続き生活して仕事（バレエ講師）も継続していきたい。今後の滞在期間などは特に決めていない。

・職業について、バレエスタジオにて年齢別にクラスを教えており、生徒数は10人程度。レッスン中の生徒とのコミュニケーションは基本的に日本語で行っており、必要であれば日本人アシスタントスタッフに英語で伝え通訳してもらっている。

・仕事をする上で、日本語でのコミュニケーションは問題なく行えていると自負している。今回の授業で学んだことを活かすことができている。

5.日本財団の支援について

・助成金受領出来る場合、2023年5月より授業再開を予定している。ただし、現在発表会準備などで多忙のため4月いっぱいの参加は難しい。

・4月末に今後のスケジュールが確定するため、予定が分かり次第連絡するとのこと。講師については、今後も相原先生を希望。

・日本財団からは助成金支援のみ受けている。

6.生活について

・金銭面で困っている点は特になし。

・日本語を使う機会が多く、ウクライナ語を使う頻度は少ない。

・日本財団からの助成金は1年延長申請済み。

7.相談事など

・特にない

8.ビザの種類

・карта резидента（在留カード）を取得済み。（ロシア語）

・特定活動ビザかどうか本人は把握出来ていない。

9.ウクライナの友人知人

・日本在住ウクライナ人の知人はいるものの、全員多忙にしている為あまり話す機会がない。

10.私たち以外の支援団体について

・日本財団と日本語教育支援はNPO法人日本語とエクスチェンジの会のみ。他の団体からの支援は受けていない。

11.質問要望など

・特になし。日本語レベル向上が現在の課題。

12.NPO法人「こころのケア」の紹介

・メンタルサポートが必要な知人友人がいるか確認する。

・ユーリアさんから使用言語についての質問あり。基本的に英語での活動、ウクライナ語でのサポートも可能なのではないかと回答。

13.ユーリアさんの印象について

・ロシア人やウクライナ人は感情を表に出さない方が多い印象。そのような一般的な印象に比べ、ユーリアさんは終始明るい性格のような印象を受けた。

・普段の授業からも、先生との会話を楽しんでいるように受け取ることができる。